

| No | 日付 | 資料 | ページ等 | コメント内容 | コメント対応 | 回答日 | 完了 |
|----|-------|--------|------|---|--|-------|-------|
| 1 | 7月24日 | 技術評価書 | 37 | 技術評価書2.3.1(2)現状保全(P37)で、コンクリートの強度低下については定期的に屋内のコンクリート表面のひび割れなどの目視確認を行い、強度に支障をきたす可能性のあるような有意な欠陥がないことを確認したとしている。熱による強度低下について、目視確認の結果(補修の有無を含む)が熱に起因するものか関係性(可能性)を整理し補足説明資料に示すこと。目視確認では熱に起因すると判断されるひび割れを確認できない場合は、その旨を補足説明資料に示すこと。 | 目視点検では熱に起因すると考えられるひび割れ等の劣化が確認されていない旨を補足説明資料に追記する。 [補足説明資料 P.18] | 9月15日 | 9月15日 |
| 2 | 7月24日 | 技術評価書 | 37 | 技術評価書2.3.1(2)現状保全(P37)で、コンクリートの強度低下については定期的に屋内のコンクリート表面のひび割れなどの目視確認を行い、強度に支障をきたす可能性のあるような有意な欠陥がないことを確認したとしている。放射線による強度低下について、目視確認の結果(補修の有無を含む)が放射線に起因するものか関係性(可能性)を整理し補足説明資料に示すこと。目視確認では放射線に起因すると判断されるひび割れを確認できない場合は、その旨を補足説明資料に示すこと。 | 目視点検では放射線照射に起因すると考えられるひび割れ等の劣化が確認されていない旨を補足説明資料に追記する。 [補足説明資料 P.20] | 9月15日 | 9月15日 |
| 3 | 7月24日 | 技術評価書 | 14 | 技術評価書表2.1-2(P14)の各産地における粗骨材及び細骨材について、2.2.3(1)aで1985年にモルタルパー法(ASTM C227)によるアルカリ骨材反応の反応性試験を実施したとしている。新規基準後に設置したコンクリート構造物のコンクリートの骨材に対する反応性試験の結果を補足説明資料に示すこと。 | 新規基準後に設置したコンクリート構造物のコンクリートの骨材に対する反応性試験の結果を補足説明資料に追記する。 [補足説明資料 別紙14 P.14-1, 14-2] | 9月15日 | 9月15日 |
| 4 | 7月24日 | 補足説明資料 | 21 | 中性化による強度低下の評価点について、3, 4号炉の特別点検の結果を踏まえて選定している旨がわかるように、補足説明資料の記載を充実する。 | 特別点検の実測値が最大であった箇所を評価点として選定している旨がわかるように、補足説明資料の記載を充実する。 [補足説明資料 P.21] | 9月15日 | 9月15日 |
| 5 | 7月24日 | 補足説明資料 | 24 | 塩分浸透の特別点検の強度試験の結果を示すこと。具体的には、P20において中性化に関する強度試験結果を示しているのと同様に記載すること。 | 塩分浸透の評価点付近における強度試験の結果を補足説明資料に追記する。 なお、P.20に記載しているのは放射線照射の評価点近傍における強度試験結果であるため、中性化深さの評価点付近における強度試験結果をあわせて補足説明資料に追記する。 [補足説明資料 P.22, 24] | 9月15日 | 9月15日 |
| 6 | 9月15日 | 概要説明資料 | 14 | アルカリ骨材反応の反応性試験について、化学法やコンクリートパー法を実施している旨を追記すること。 | 化学法やコンクリートパー法を実施している旨を追記する。 [概要説明資料 P.14] | 11月6日 | 11月6日 |

高浜3, 4号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表(コンクリート)

| No | 日付 | 資料 | ページ等 | コメント内容 | コメント対応 | 回答日 | 完了 |
|----|-------|--------|--------|--|--|-------|-------|
| 7 | 9月15日 | 概要説明資料 | 17 | 温度分布解析結果についてのグラフの横軸について、マスクング要否を確認すること。 | 1次遮蔽壁の厚さについては、核物質防護の観点から非公開としている。 | 11月6日 | 11月6日 |
| 8 | 9月15日 | 概要説明資料 | 21 | 鉄筋が腐食し始める時の中性化深さの数値に関する説明を補足説明資料に追記すること。 | 鉄筋が腐食し始める時の中性化深さの数値に関する説明を補足説明資料に追記する。 [補足説明資料 P.22] | 11月6日 | 11月6日 |
| 9 | 9月15日 | 概要説明資料 | 23, 24 | 1・2号炉の建造物の経過年数について、1・2号炉の運用開始後の経過年数についての記載を追加すること。 | 1・2号炉の運用開始後の経過年数がわかるように説明を追記する。 [概要説明資料 P.21, 23, 24] | 11月6日 | 11月6日 |
| 10 | 9月15日 | 概要説明資料 | 29 | 1次遮蔽壁の炉心領域部やRVサポート直下部について、目視確認ができない範囲があるが、一次遮蔽壁の外側から確認している旨を補足説明資料に追記すること。 | 目視確認ができない範囲がある旨を補足説明資料に追記する。 [補足説明資料 P.18, 20] | 11月6日 | 11月6日 |

高浜3, 4号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表(コンクリート)

| No | 日付 | 資料 | ページ等 | コメント内容 | コメント対応 | 回答日 | 完了 |
|------|-------|--------|--------|--|--|-------|-------|
| 11 | 9月15日 | 概要説明資料 | 38, 39 | 中性子線量やガンマ線量について、評価結果が30年目と比べて増減している理由を詳細に説明すること。 | 補足説明資料の別紙18 (T4:別紙19)を追加し記載する。 審査資料P.38、39を修正する。 [補足説明資料 別紙18 (T4:別紙19)] [概要説明資料 P.38,39] | 11月6日 | 11月6日 |
| 11-1 | 11月6日 | 補足説明資料 | 18-3 | ガンマ線照射量の算出に用いる線量換算係数の精緻化について説明すること。 | 補足説明資料の別紙18 (T4:別紙19)に追記する。 [補足説明資料 別紙18 (T4:別紙19)] | | |
| 12 | 11月6日 | 補足説明資料 | 18-3 | 取水構造物のかぶり厚さについて、30年目の評価から見直した内容を補足説明資料に記載すること。 | 補足説明資料の別紙18 (T4:別紙19)に追記する。 [補足説明資料 別紙18 (T4:別紙19)] | | |